

生協さえき病院 3 病棟紹介

当病棟は医療療養型（療養病床）で病床数 60 床となっています。配置職員数として看護師 24 名、介護福祉士 6 名、介護ヘルパー 2 名（2012.12.6 現在）24 時間体制で日々業務を行っています。（勤務体系は 2 交代勤務制です→夜勤 3 名体制）



「医療療養型とは-----」

医療法で定められた医療病床を有し、治療・療養上の管理、看護など医学的管理のもとで、介護サービスや日常生活援助などを受けられる病床です。



「どのような方が入院されていますか？」

療養病床という言葉はあまりにも専門的でなじみのない言葉だと思います。ここでは療養病床の役割を含めてお伝えいたします。

まず療養病床に入院されている方の多くは、状態が安定し急性期治療は既に必要ないが、在宅に戻るには医療依存度の高い患者様です。

またご本人様の「在宅復帰」を目指し、医療と介護の提供も合わせて行っています。



（具体例）

24 時間の点滴や酸素の供給が必要であったり、1 日に幾度も痰の吸引が必要であったり、肺炎を繰り返すといった医療依存度の高い方に継続的かつ的確な医療の提供を長期に行うことが出来るのが療養病床の特徴です。



- ・ <医療療養病床へ入院対象疾患・状態は以下になります>

- ・ 医療区分:疾患、状態、医療処置の内容から3つに区分したもの

医療区分3	【疾患・状態】 ・スモン ・医師及び看護師による24時間体制での監視・管理を要する状態 【医療処置】 ・中心静脈栄養 ・24時間持続点滴 ・レスピレーター使用 ・ドレーン法・胸腹腔洗浄 ・発熱を伴う場合の気管切開、気管内挿管のケア ・酸素療法 ・感染隔離室におけるケア
医療区分2	【疾患・状態】 ・筋ジストロフィー ・多発性硬化症 ・筋萎縮性側索硬化症 ・パーキンソン病関連疾患 ・その他神経難病(スモンを除く) ・神経難病以外の難病 ・脊髄損傷 ・肺気腫・慢性閉塞性肺疾(COPD) ・疼痛コントロールが必要な悪性腫瘍 ・肺炎 ・尿路感染症 ・創感染 ・リハビリテーションが必要な疾患が発症してから 30 日以内 ・脱水 ・体内出血 ・頻回の嘔吐 ・褥瘡 ・うつ血性潰瘍 ・せん妄の兆候 ・うつ状態 ・暴行が毎日みられる状態 【医療処置】 ・透析 ・発熱又は嘔吐を伴う場合の経管栄養 ・喀痰吸引 ・気管切開・気管内挿管のケア ・血糖チェック ・皮膚の潰瘍のケア ・手術創のケア ・創傷処置 ・足のケア
医療区分1	医療区分2・3に該当しない

＊ ただし、入院判定会議により当院の入院対象の患者さんかどうか決めさせていただきます。

(フィッシュの取り組み)

“フィッシュ”とは、仕事に遊び心を取り入れ、楽しく心地よく仕事出来るように行動することです。

例えば、「挨拶月間」を行い接遇改善を目指すときに、一番良かった職員を皆で投票して、表彰し記念品を贈呈したり、患者さんの誕生日にはバースデイカードを渡してお祝いするなど職員も楽しんで取り組んでいます。一番は病棟行事です。幾つかご紹介します。





【七夕会】

では、患者さんと一緒に『バルーンアート』に挑戦しました。沢山のお花や犬などの作品が出来ました。皆さん、ご家族に作品を見てもらって嬉しそうでした。

『敬老会』

ボランティアさんによるフラダンスの観賞して、白寿や米寿の患者さんへ表彰状を渡して、職員と一緒にお祝いをしました。



『お花見会』



職員による「花笠音頭」の踊りやバイオリン演奏を観賞してもらいました。3 階の職員は楽しんでいつも踊っています。最後に、患者さんの手により大きな桜の木が出来上がりました！



これからも患者さんと一緒に、遊び心をもって「フィッシュ」に取り組み、職員は前向きに仕事出来るように、長い入院生活の患者さんには、癒しや楽しみになるように頑張りたいと思います。